

進路だより

発行：平成28年9月5日

1 スコア手帳ライトについて

計画的にスケジュールを管理したり，提出物を書き留めたりする手帳として，スコア手帳ライトを使用しています。7月に成長実感アンケートを実施しました。全国集計結果も含めてお知らせします。

このスコア手帳の導入には，次のような3つの重要な目的があります。

- (1) 計画を立てて学習に取り組むこと。
- (2) 学習しないといけない項目を整理すること。
- (3) 提出物などを記録すること。

これらをスムーズに実行するために，スコア手帳ライトは導入されています。

①学習時間について（1学年）※(左が本校，右が全国平均)

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？

回答	人数	貴校	全国中1
勉強していない	1	0.8%	2.1%
30分未満	8	6.5%	6.1%
30分-1時間未満	23	18.5%	15.5%
1-2時間未満	52	41.9%	36.4%
2-3時間未満	25	20.2%	26.8%
3-4時間未満	9	7.3%	7.9%
4-5時間未満	2	1.6%	2.4%
5時間以上	3	2.4%	0.9%
わからない	1	0.8%	1.9%

Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？

回答	人数	貴校	全国中1
勉強していない	1	0.8%	3.2%
30分未満	4	3.2%	6.9%
30分-1時間未満	11	8.9%	11.0%
1-2時間未満	26	21.0%	21.0%
2-3時間未満	30	24.2%	23.5%
3-4時間未満	18	14.5%	15.5%
4-5時間未満	22	17.7%	9.1%
5時間以上	11	8.9%	7.5%
わからない	1	0.8%	2.3%

②学習時間について（2学年）※(左が本校，右が全国平均)

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？

回答	人数	貴校	全国中2
勉強していない	7	5.1%	5.3%
30分未満	11	8.0%	11.0%
30分-1時間未満	22	15.9%	19.4%
1-2時間未満	69	50.0%	38.1%
2-3時間未満	21	15.2%	19.7%
3-4時間未満	5	3.6%	3.7%
4-5時間未満	2	1.4%	0.6%
5時間以上	0	0.0%	0.6%
わからない	1	0.7%	1.6%

Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？

回答	人数	貴校	全国中2
勉強していない	4	2.9%	8.1%
30分未満	3	2.2%	10.2%
30分-1時間未満	10	7.2%	13.7%
1-2時間未満	25	18.1%	23.4%
2-3時間未満	51	37.0%	23.1%
3-4時間未満	23	16.7%	11.4%
4-5時間未満	14	10.1%	5.1%
5時間以上	7	5.1%	3.1%
わからない	1	0.7%	2.0%

③学習時間について（3学年）※（左が本校，右が全国平均）

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？

回答	人数	貴校	全国中3
勉強していない	6	4.3%	5.5%
30分未満	8	5.7%	10.9%
30分-1時間未満	28	20.0%	19.6%
1-2時間未満	65	46.4%	35.1%
2-3時間未満	28	20.0%	20.4%
3-4時間未満	5	3.6%	5.0%
4-5時間未満	0	0.0%	1.1%
5時間以上	0	0.0%	0.8%
わからない	0	0.0%	1.6%

Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？

回答	人数	貴校	全国中3
勉強していない	10	7.1%	7.7%
30分未満	4	2.9%	9.0%
30分-1時間未満	12	8.6%	13.4%
1-2時間未満	37	26.4%	24.3%
2-3時間未満	46	32.9%	23.2%
3-4時間未満	19	13.6%	11.6%
4-5時間未満	6	4.3%	4.7%
5時間以上	6	4.3%	3.9%
わからない	0	0.0%	2.1%

①，②，③の結果から1，2，3学年ともほぼ全国平均と変わらない学習時間が確保できていることが分かります。7割以上の生徒が平日でも1時間以上の学習を継続できている中，1割程度の生徒は30分に満たないことが分かります。仮にこの差を30分とすると，1年間で約180時間，つまり1週間以上の学習時間の差になります。集計上はその差は1時間以上ですから，1年間で2週間以上の差になっています。この差が3年間続くと，1か月から2か月の学習時間の差となってしまいます。

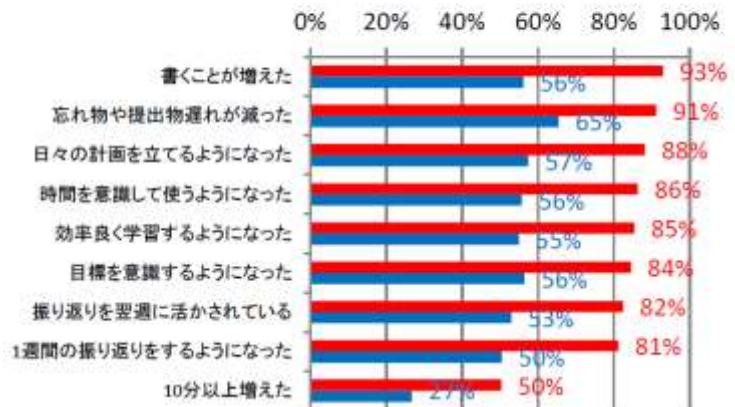
毎日学習する習慣がついている人とついていない人では，6学年，また，それ以降の大学生活で大きな差となります。自分で記録をとり，自分で自分を律し，はやく学習面での自立をむかえましょう。

④ 手帳に記録すること

すでに多くのメディアに取り上げられていますが，手書きで記録することが，様々な点で効率を上げます。次のグラフは，手帳を使用している生徒とあまりしていない生徒の比較です。一目瞭然ですが，手書きで記録する効果が現れています。今は，できる生徒は手書き記録の時代です。朝と帰りのSHR以外にも普段から手帳を開く癖をつけましょう。

※上段が1日に手帳を3回以上開く生徒，下段が1日に手帳を2回以下しか開かない生徒。

1日にスコラを開く回数が
■3回以上の生徒 と
■2回以下の生徒 の比較



2 手帳甲子園について

スコラ手帳を活用している生徒は，手帳甲子園に応募できます。平成28年10月31日(月)までに，個人部門の手帳活用術か表紙デザイン部門の手帳活用術で応募してください。詳細は下記のアドレスを参考にしてください。個人部門は自分独自の使い方やルール，継続的に手帳を使う工夫などの活用度や基本的な活用方法にとらわれることなく，自由な発想で活用しているかなどの独創性が審査されます。学校から応募しますので，応募を検討している生徒は，学年の進路指導係の先生に相談してください。

手帳甲子園のアドレス

<http://www.noltyplanners.co.jp/scola/koushien/>